



～友 愛～

富田中学校だより

学校教育目標

「確かに生きる」

令和 3年10月22日 No.15

□体育祭

15日(金)雲一つない秋晴れの絶好のコンディションの中、令和3年度の体育祭を行いました。年間行事計画では、9月22日(水)に開催する予定でしたが、8月からの新型コロナウイルス感染拡大第5波の影響で約3週間遅らせての開催となりました。内容も夏休み前の保護者宛文書では昨年度よりも少し種目を増やして行うとお知らせしましたが、昨年度と同じ種目数に変更しました。

そのような状況の中でしたが、生徒の皆さんは、競技、応援、係の仕事にと素晴らしい姿勢で臨んでくれました。

最初の競技の開始である学級対抗リレーの招集アナウンスが流れると生徒から自然に拍手が起こり、これからの競技に対する意気込みが感じられるとともに、体育祭の雰囲気は否応なしに盛り上がりました。

校長からの開会式の挨拶では、今回の体育祭テーマである「infinity すまいる～永遠の煌めきを最高の友と～」から、無限大の笑顔があふれ、最高の友と一緒にみんなが楽しめる、そんな体育祭になることを願っている。加えて、「最後まで諦めずに」「全力で」参加し、そのことを通して「友情を深め」素晴らしい「すまいる」を見せてもらえることを期待していると伝えました。閉会式の講評では、これらの事がすべてできていたことに加え、競技中に取り組む姿勢が「たいへんフェア」であったと伝えました。これは、各競技中のルールをしっかりと守る姿や、正々堂々と勝負する姿、それを敵味方関係なく応援する姿が

いたる所で見られたからです。本当に素晴らしい富田中学生の姿を見せてもらいました。特に3年生は、その姿で1・2年生を引っ張り、素晴らしい伝統を継承し、伝えていってくれたと思います。

3年生の保護者の皆様、たいへん日差しが強い中、たくさんの声援とご協力をありがとうございました。また、1・2年生の保護者の皆様には、昨年度に引き続き今回も参観していただくことができず、申し訳ありませんでした。この件に関しても、ご理解とご協力いただき誠にありがとうございました。1・2年生の生徒

たちも3年生に負けないくらいの笑顔で、精一杯頑張って競技に参加していました。



□体育祭 ～後片付けまできっちりと～

昼食をはきんで、午後からは後片付けを行いました。私もグラウンドに出て片付けの様子を見守っていたのですが、部活動を中心とする担当の生徒たちは疲れているにもかかわらず、本当にテキパキと動き、短時間で片付けを終了してくれました。ここでも富田中学生の素晴らしさを見ることができました。最後の最後まで本当にありがとうございました。お疲れさまでした。



□後期生徒会役員選挙 ～後期役員が決まりました～

19日(火) 生徒会役員選挙が行われました。令和3年度後期生徒会役員には13名の立候補者が出て、選挙及び信任投票により7名が選ばれました。

今回の立会演説会は、候補者が前もって録画した動画を視聴する形で行いました。どの候補者からも、それぞれの役職に対する意欲や富田中学校をよりよくしたいという気持ちが伝わる言葉が聞かれました。

新しく本部役員に選ばれた7名の皆さんは、まだまだ新型コロナウイルスによる影響で制限等があると思いますが、その中で創意工夫し生徒会活動を盛り上げていってほしいと思います。活躍を期待しています。

【後期生徒会本部役員】

会長：小野田 志妃
副会長：相松 俊祐、細谷 啓太
執行委員：伊藤 潤、飯塚 愛奈
渡邊 瑛太、杉田 実優



動画による演説視聴の様子

□三泗駅伝競走大会に向けて

11月4日(木) 四日市中央陸上競技場と周辺トリムコースで行われる、令和3年度(男子66回 女子36回) 三泗地区中学校駅伝競走大会に出場する選手を選考するための練習会が始まりました。当日は、男子6区間、女子5区間でタスキをつなぎ競います。

候補選手である男子26名、女子26名(1年生17名、2年生19名、3年生16名)計52名の生徒が、19日(火)～22日(金)の練習に参加します。22日に選考会を行い、当日に向けた選手(男子6名 補欠3名、女子5名 補欠3名、計17名)に絞ります。そして、その選手で試走等を行い、当日走る選手及び区間を決定します。

すでに部活動を引退した3年生からも多くの方が参加してくれました。その3年生を含め、まず、たくさんの方が練習に参加してくれたことの意欲をたたえとともに感謝します。駅伝など長距離を走ることはとてもしんどいことです。でもそれをやり切った先に得られることは計り知れないものがあると思います。今後、選手に選ばれた人は、選ばれなかった人の思いも背負って、富田中学校の代表としてタスキをつないでほしいと思います。

